









サイラムザ+パクリタキセルの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	8日目	15日目	16~28日目
アレルギー予防・ 吐き気止め	 30分	 30分	 30分	お休み
サイラムザ (ラムシルマブ) mg	 60分	お休み	 60分	お休み
パクリタキセル mg	 60分	 60分	 60分	お休み

※アルコールが含まれているため、アルコールに弱い方は、お酒を飲んだ時のように顔が赤くなったり、脈が速くなったり、気分が悪くなることがあります。

アレルギー予防としてパクリタキセル投与30分前までに抗アレルギー薬を服用します。

起こりやすい副作用

これらの副作用がすべて起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後7~14日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！

白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

タンパク尿

尿にタンパクが出る場合があります。そのため、定期的に尿を検査し、尿の中のタンパクの有無を調べます。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。

ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

過敏症

点滴中にアレルギー症状がおこることがあります。『息苦しい』『胸苦しい』『気分が悪い』『発疹がでる』『顔がほてる』『突然体がしんどくなる』『顔や体がかゆい』などの症状がおこった時は、すぐに医療スタッフにお知らせ下さい。

⇒アレルギー症状は、多くの場合、点滴を始めてから数分でおこります。

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始2～3週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

末梢神経障害

治療を開始した直後に、手足がしびれることもあれば、徐々にしびれが出てくる場合もあります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

倦怠感

治療開始2、3日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

高血圧

血圧が上がる場合があります。血圧が高いと頭痛をともなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。

また、患部から出血することもあります。血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

傷口が治りにくい

傷口が治りにくくなる場合があります。傷口がひらく、傷口から出血する場合は、病院へご連絡下さい。

⇒歯を抜く、手術をする予定がある場合は、予め主治医にご相談ください。

血管外漏出（壊死性）

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。すぐに適切な処置をしなければ、潰瘍ができたり、ひどい場合には皮膚が壊死してしまうこともあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、ただちに医師・看護師にお知らせください。外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。ご自宅に帰られた後も、点滴部周辺に違和感を感じたり、症状が軽快しない場合は病院にご連絡ください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。



- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」（過敏症）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。

担当薬剤師